日本テコンドー協会　弐段昇段審査　要項

２０２１年１２月１５日改訂
日本テコンドー協会
宗師範　河　明生

日本テコンドー協会（以下、ＪＴＡ）は、前身団体創設以来、約４０年活動してまいりました。
その間、輩出した有段者は約１千名（現在９８５名昇段）。その大部分は初段昇段者です。
他方、１００年以上の歴史をもつ柔道界・剣道界は六段以上の高段者を多数輩出しています。
これは柔道界・剣道界には生涯武道と定める門人が多いということに他なりません。

ＪＴＡは１２年後、５０周年を迎え、「１００年後も存続する流派・組織」を目指しています。
ＪＴＡ及び日本　拳道創始者の責務であると考えているからです（その後は後継者の責務）。
日本　拳道を生涯武道と定めて日々研鑽する門人が増え、彼らが柔道家や剣道家のように
高段者を目指し、有為な武道家を絶えず輩出してこそＪＴＡは「１００年後も存続する流派及び組織」になると考えます。

また、現代は「人生１００年時代」と言われ、豊かな長寿社会が理想とされています。
人間が１００年生きるためには、持続的な運動にともなう心身鍛錬が不可欠です。
最近、私は、古参の門人達に提案しています。
「人の財産は金と不動産だけではない。良好な人間関係も貴重な財産である。
　良好な人間関係があればこそ人生は豊かになる。
　金や不動産はあるが信義に欠け猜疑心に満ち心身ともに不健全な人々を私は多数知っている。
　君の人生を省みた時、ＪＴＡライフを通じた私や門人達との関係は、財産だと思わないか。
　また、家庭と職場以外でこれほど長いつきあいはないのではないか。
　持続的に交流交際が続いているのは、君の人生にとって意義があるからだと思う。
　一緒に長生きしないか。そのためには日本　拳道を通じて自己の鍛錬を怠ってはならない。
　目標無くして鍛錬は難しい。ゆえに初段なら二段、二段なら三段、三段なら四段と昇段し、
　将来、師範や師範代となって１００年生き、日本　拳道で後身を育てて欲しい」

二段昇段審査受験を欲する門人は、下記を一読し、所定の手続きを済ませて下さい。

目次
一、基本事項
二、受験資格
三，審査内容
四，弐段昇段審査受験費用
五、手続き　提出書類
六，その他

記

一、基本事項

１，主催者

日本テコンドー協会

２，審査官

日本跆拳道創始者　河　明生

３、実施日時及び場所

JTA本部HP　最新昇段審査日程参照

二、弐段受験資格

ＪＴＡ初段の段位を有し、
２年間持続的に稽古に励む、
現役会員は、二段受験資格を有する。

注意１　休会していた初段会員は、復帰後、２年間持続的に稽古に励み、
年会費や月会費等、信義に反する行為の無い　現役会員は、二段受験資格を有する。

注意２　「ＪＴＡ七大精神」に反している者は受験できない。
たとえば、礼儀礼節や信義に欠けている者、
年会費、月会費、部費等の滞納常習者で社会性に欠けている者等は受験できない。

三，審査内容

弐段として格を担保するため性別や年齢の別はない

１、実技審査

実技審査は最短で１回、<u>最長で５回</u>にわけて受験することができる。

２回以上にわけて昇段実技審査を受験することを奨励する。

日本　拳道は、己との闘いである。
昇段は、他者との競争ではないから他者の目を気にする必要はない。
確実に、一歩一歩、優れた実技能力を涵養した上で昇段することを奨励する。

１）実技審査１　蹴武型審査

蹴武の型　飛び踵落とし蹴りの型　柳韓（ユーハン）

２）実技審査２　組手審査

蹴美研究組手　後ろ横蹴り前進基本７種

①前進後ろ横蹴り（左・右）
②前進スライド　後ろ横蹴り
③前進交差　後ろ横蹴り
④前進膝挙げ　後ろ横蹴り
⑤前進逆遠心力　後ろ横蹴り
⑥前進２回転　後ろ横蹴り
⑦前進飛び後ろ横蹴り（左・右）

３）実技審査３　創作約束組手審査

蹴美創作約束組手　受験者オリジナル７種

創作上の注意事項
イ、攻撃側は定められた２動作とする。
ロ、手技による攻撃から足技による攻撃とする。
ハ、ＪＴＡ攻撃技術たる段差攻撃とする。
ニ、手技・足技の左右の別は受験者に委ねる。

＜１＞攻撃側指定　手技・足技

手技		足技（蹴武型順序）
立ち方　半前屈立ち		
①正拳中段突き	＋	下段前蹴り
②正拳中段逆突き	＋	上段回し蹴り
③正拳上段突き	＋	中段横蹴り
④正拳上段逆突き	＋	中段後ろ横蹴り
⑤縦貫手中段突き	＋	上段後ろ回し蹴り
⑥手刀上段打ち	＋	中段捻り蹴り
⑦背刀上下段打ち	＋	最上段踵落とし蹴り

＜２＞受験者創作　防御・迎撃　立ち方　平行立ち

①上記＜攻撃①＞に対する防御と迎撃

②上記＜攻撃②＞に対する防御と迎撃

③上記＜攻撃③＞に対する防御と迎撃

④上記＜攻撃④＞に対する防御と迎撃

⑤上記＜攻撃⑤＞に対する防御と迎撃

⑥上記＜攻撃⑥＞に対する防御と迎撃

⑦上記＜攻撃⑥＞に対する防御と迎撃

２、論文審査

JTA昇段論文審査課題参照

四、弐段昇段審査受験費用

３３、０００円（税込）

審査実施日１週間前迄、下記口座に所定の費用を振込んで下さい。振込手数料は受験者負担。

指定振込先１、　ゆうちょ振替口座（従来の郵便振替）

当座　　００１６０－６－１８５０５８

名義　　日本テコンドー協会

指定振込先２、　三菱UFJ銀行

普通

名義　　日本テコンドー協会

指定振込先３、　三井住友銀行

普通

名義　　日本テコンドー協会

注　意

1）　振込人は、受験者本人の氏名で振り込んで下さい。
　　親子・兄弟姉妹の審査料の振り込みは手数料節約のためまとめて振り込んでも構いません。

2）　審査当日の現金による受領は一切認めません。

3）　一度、振り込まれた審査料は、如何なる事情があろうとも返却しません。

五、手続き　提出書類（審査当日持参提出）

手順１　所属クラブ長の受験許可を得る

手順２　JTA本部提出書類を作成する

①正装証明写真（５Ｃｍ＊５ｃｍ）３枚

証明写真を切らないで添付した場合失格とします。
写真が折り曲がらないように注意して下さい。

②簡易履歴書　（様式随意、ワープロ作成可。上記写真を１枚貼る）

③弐段昇段審査申請書　（定められた書式。上記写真を１枚貼る）

④「蹴美創作約束組手二段動作説明書」

１）受験者が独自に創作したオリジナルな約束組手に限る。
２）蹴美創作約束組手は、名称のとおり、蹴美の約束組手の創作である。
よって次の動作は、蹴美ではないので禁止する。
イ）手技のみは不合格とする。
ロ）投げ技・つかみ技・関節技等の組技系格闘技・武道の動作を加えることを禁止する。
ハ）ローキック、膝蹴り、間接蹴り等の蹴美ではない蹴り技を禁止する。
ニ）その他ふさわしくない技。例えば、頭突きや目突き等。

手順３　弐段昇段審査料３３０００円を振り込む。

六、その他

１）合否は、ＪＴＡウェブサイトに公開します。
失格者の氏名は非公開とし、クラブ長を通じて受験者本人に通知します。

２）合格者には、「日本テコンドー協会昇段証」を昇段証授与式（年２回）時に授与します。

３）理由を問わず欠席者や遅刻者は失格とします。審査料は返却しません。

4）審査は、保険会社の方針により「スポーツ安全保険」が適用されません（理由は不明）。
そのため日本テコンドー協会は、昇級・昇段審査課題から自由組手を除外してます。
しかし、打撃系格闘技＝武道である以上、１００％安全だとはいえません。
とくに、試し割は怪我をする恐れがあります。

受験を希望する会員は、

審査中、何らかのアクシデントにより事故が生じようとも自己の責任として処理し、
ＪＴＡやその関係者に対して慰謝料や治療費等を請求しないことを
あらかじめ同意していただかないと審査は受験できません。
上記の同意の意志は、審査書類の提出と審査料の振り込みよって確認します。

５）試し割等で骨折等の怪我をする場合がありますので、保険証の現物を持参して下さい。
審査会場近隣の救急病院や接骨院等での治療に必要です。

６）見学は、ＪＴＡ会員およびその保護者や関係者のみ可能です。
ビデオやカメラでの撮影も可能です。ただし、フラッシュは危険ですの禁止します。